

京都市立新町小学校

令和6年度学校経営計画

1 教育目標及び目指す子ども像、教職員像、学校像

■教育理念 (一生を貫く考え)

自立 共生 創造

■教育の目的 (6年間かけて育んでいくべき資質能力)

自ら進んで学び、ともに高め合い、夢に向かって歩む子の育成

■教育目標 (単年度、もしくは2年間で達成する目標)

(低学年)

自分の身の回りの生活を自分の力で行うことができる
友達や周囲の大人と仲良くできる。
好きなことを見つけ、一生懸命になれる。

(中学年)

自分のやるべきことを自分で見つけ、解決することができる。
交友関係を広げ、人と人をつなげることができる。
目標を立て、実行し、振り返りながら継続することができる。

(高学年)

自分の立てた目標達成のために、克己心をもって努力できる。
友達や学校全体のためになることを考え、実行することができる。
夢の実現に向けて計画を立て、今何をすべきか考え、目標を達成する。

■めざす学校像・教職員像

一人一人を大切にする愛ある学校・教職員

公立学校として責任と自覚をもって精励する学校・教職員

自己実現し、社会に貢献しようとする人材を育成する学校・教職員

学校経営方針

■基本方針

本校の教育理念は「自立・共生・創造」とする。教職員は、この理念を常に意識して教育活動を進めていく。これは全国学力学習状況調査や学校評価アンケート、教職員との面談を経て、本校の児童の将来像と現在の課題を考察し今年度より掲げた理念である。

現在の学校教育は児童減少、AIの普及、働き方改革など社会の変化と共に大きく変わろうとしている。しかし、学校教育で第一に大切にすべきことは児童の育成であり、普遍的な価値について大切にしていかなくてはならない。教育の使命は、子どもが自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、豊かな人間関係を築きながら自分らしい生き方を探究し、実現できるように取り組んでいくことである。一方、上記のような社会的変化に対応する力もつけていかなければ

ばならず、学校も社会的変化に対応していく必要がある。

そのため、今までの学校教育を検証し、見直し、目的を共有して進めていく。教職員のみならず、保護者や地域、関係機関などと協議し、京都市の目指す、「伝統と文化を受継ぎ、時代と自らの未来を創造する子ども」の育成を目指す。

■重点項目

「いのち」

- ・子どもを教え育むという崇高な職務に携わる教職員としての誇りと自覚をもち、心と体を大切にする子どもを育成する。

- ・学校が安心して生き生きと活動できる場所であることを子どもが実感でき、あらゆる人間関係の中で大切にされていると実感できるようにする。(いじめ対応、ハラスメント、虐待)

- ・インターネット上の様々な人権侵害、犯罪被害にあわないよう、また加担しないよう適切な判断ができるようにする。

「よりそい」

- ・子ども一人一人の人権が大切にされているか、全教職員が関わり、細やかに観察し慈しみ育っていく。

- ・様々な障害や困り、環境など子どもを取り巻く生活のありようを把握し、個に応じた支援を積極的に図っていく。

「つとめ」

- ・教職員は自らの姿で人としての生き方を伝える子どもたちにとって最大の教育環境であることを踏まえ、自らの職責と自覚し、子どもや保護者、地域住民の信頼を得られるよう努める。

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業研究を行い、知識や技能、表現力、思考力を高め、さらに主体的に学びに向かう子どもを育てることを意識する。

- ・GIGA 端末はじめ様々な ICT 機器を活用し、子どもの思考や表現を共有し、発展させ、時間や空間を越えた学びのフィールドを体験させ、社会に積極的に参画する態度を育成する。

- ・日々の授業と家庭学習を連携させ、自分に必要な学習は何か判断し、自学自習ができるようにする。

「ひろがり」

- ・学校運営協議会や PTA と協働で学習活動を進め、子どもが身に付けるべき資質・能力を分かりやすく示し、家庭・地域と同じ方向性を持ちながら、教育の理念の実現に向かう。

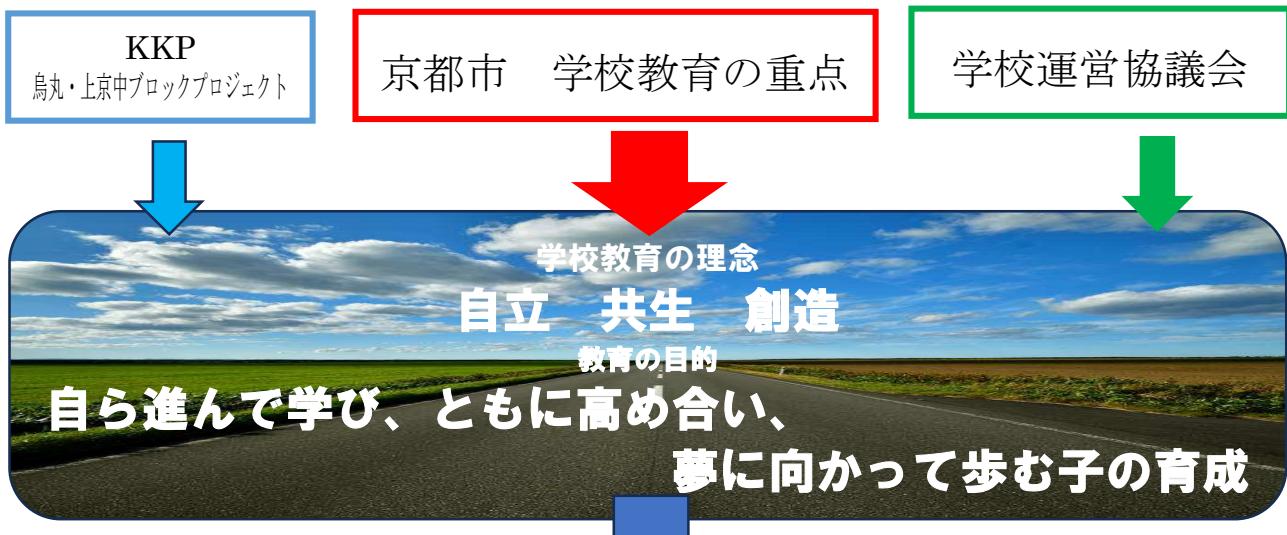
- ・京都ならでは、新町ならではの取組を推進し、伝統文化教育や環境教育、探究的な学習などの中で直接体験を取り入れ、地域を巻き込み地域社会全体が子どもの教育に関心をもてるよう情報発信する。

「つながり」

- ・互いに認め合い、尊重して、支え合うことのできる共生社会の形成を目指す。

- ・幼保小中のつながりを意識し、KKP (烏丸中・上京中ブロックプロジェクト) 内での取組が自校の子どもたちにどのような影響を与えるのか見直し、よりよいものを連携しながら作り上げる。

令和6年度 学校教育構想図



教育目標 (単年度、もしくは2年間で達成する目標)
(低学年)

- 自自分の身の回りの生活を自分の力で行うことができる。
- 共友達や周囲の大人と仲良くできる。
- 創好きなことを見つけ、一生懸命になれる。

(中学年)

- 自自分のやるべきことを自分で見つけ、解決することができる。
- 共交友関係を広げ、人と人をつなげることができる。
- 創目標を立て、実行し、振り返りながら継続することができる。

(高学年)

- 自自分の立てた目標達成のために、克己心をもって努力できる。
- 共友達や学校全体のためになることを考え、実行することができる。
- 創夢の実現に向けて計画を立て、今何をすべきか考え、目標を達成する。

- 研究活動 キャリア教育の研究を通して自立・共生・創造
- 生徒指導 自己指導能力の育成（生徒指導の三機能）
- 総合育成支援教育 支援の必要な児童へ適切な支援を行う
- 学力向上 公教育が支えの子どもの学力を向上させる
- 人権教育 共生社会を生きる子どもに人権意識をつける

■めざす学校像・教職員像

一人一人を大切にする愛ある学校・教職員

公立学校として責任と自覚をもって精励する学校・教職員

自己実現し、社会に貢献しようとする人材を育成する学校・教職員